

《グラフィック》

コロナウイルス対応による「新しい学校生活」をつくる
自ら考えて動く

《序文》

アフターコロナの学び

菊崎奈枝 (1)

《主題》

「個の学習能力を育てる『奈良の学習法』」

→ 単元の本質を見極めて、個の学び・共同の学びをつくる
→ 共同の学びの見とりと指導

学級の学びを見とり進める「しごと学習」

阪本 英 (4)

理科学習における共同の学びの見とりと指導

→ 実体験を伴う学習の利点を活かして

長島 雄介 (10)

《特別寄稿》

「新しい日常生活」で育つ非認知能力(“grit”「やり抜く力」)

森脇 健夫 (16)

◆ 子ども記 ピンチはチャンス

→ コロナ禍で子どもとともにつくる「新しい学校生活」

三井 栄治 (22)

《実践》

『お伽草子』の世界を読み味わって表現しよう②

→ 独自学習の交流から読みの問いをつくり、更なる独自学習へ(五年生・けいこ(国語))

杉澤 学 (24)

ひとりで読みすすめることのできる力を育てる

→ 聞き合いに生かす音読活動と学習を深める教師の誘い

→ 「モチモチの木」(光村図書 三年)

西田 淳 (30)

「けいこ(算数)」における子どもの発言のつながり

→ 四年「変わり方」

河田 慎太郎 (36)

奈良にリニア⑥ (しごと)

自分事として捉え、思考し続ける子どもを育む指導

→ 題材「空きようきのへんしん」けいこ(造形)三年

服部 貞也 (48)

子どもの挑戦を支える教師の役割

→ 子どもがつくる実験 もののあたたまり方(四年)

中野 直人 (54)

◆ なかよし よりよい学校生活を目指したなかよしの姿

→ 保健委員の活動を通じて

辻村 琳 (60)

《実践寄稿》

見通しをもつ子どもを育てる理科の学び

→ 単元を三構成にすることで

久保 文人 (62)

奈良女附小参観記 (68)

→ 会員のひろば (70)

→ あとがき (71)

→ 表紙絵:宇野陽一、カット絵:服部貞也

